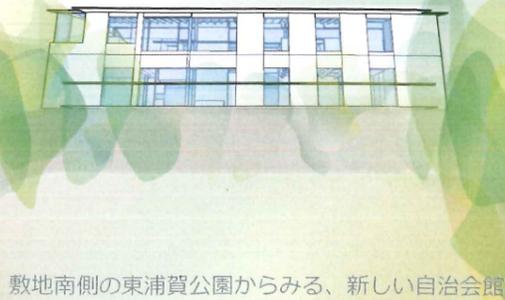


# 新しい東浦賀和光台自治会館 コミュニティの継承と発展へ

深緑と紺碧の景観にいだかれた東浦賀和光台。そこにお住まいの方々に永く親しまれ、いつでも生活のよりどころとなる安全な自治会館を提案します。明解で機能的な施設配置によって敷地を最大限活用し、災害時の地域活動拠点としての役割も含め、多目的かつフレキシビリティある利用や運用が可能な計画です。誰もが集える小さな吹抜のあるサロンを中心に、南側公園の緑を借景とした明るく清潔な館内は、誰にも使いやすいとわかりやすい安心感のある場所となります。

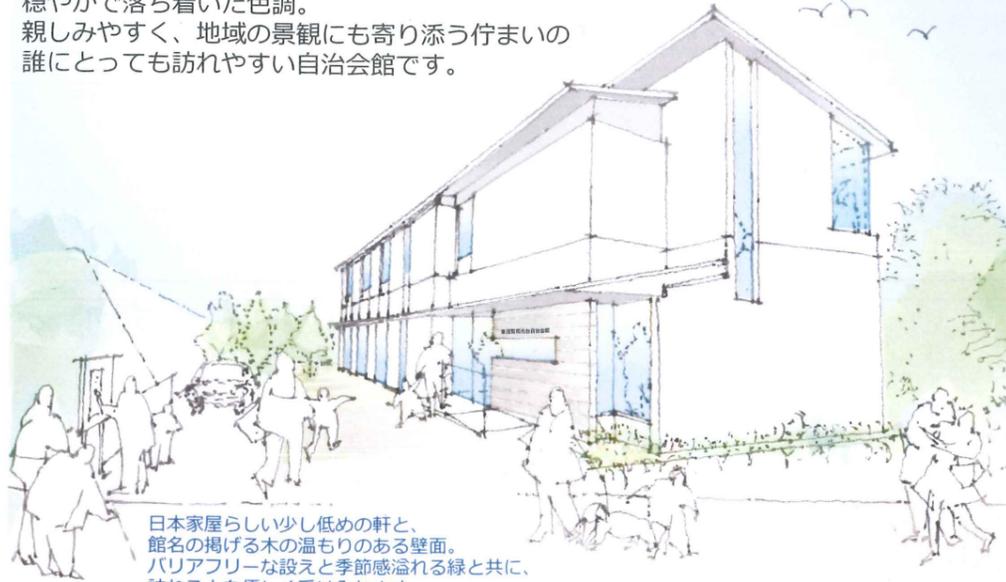
由緒ある叶神社や明神山の豊かな自然に包まれ、燈明堂から浦賀水道を望む、東浦賀和光台。その穏やかで落ち着きのある住宅地を受けとめるような南端に、現在の北端の自治会館と共に、新しいコミュニケーションの場が広がります。



敷地南側の東浦賀公園からみる、新しい自治会館

## 新しい自治会館のすがた

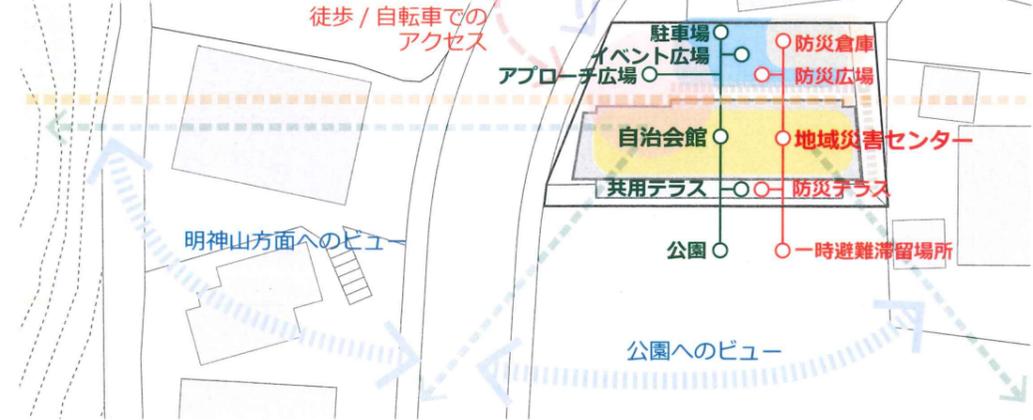
ヒューマンスケールに分節された壁、窓、庇、勾配屋根。穏やかで落ち着いた色調。親しみやすく、地域の景観にも寄り添う佇まいの誰にとっても訪れやすい自治会館です。



日本家屋らしい少し低めの軒と、館名の掲げる木の温もりのある壁面。バリアフリーな設えと季節感溢れる緑と共に、訪れる人を優しく受け入れます。

## 敷地利用・施設配置の考え方について

近隣の方々の居住環境への配慮を最優先とし、北側を外部エリア、公園に面する南側を施設エリアとします。自治会館あるいは地域災害センターとして、地域や敷地周辺の環境との双方向なコミュニケーションや多目的かつ機能的な利用が可能です。



## 1階平面計画について

1階(下足ゾーン)は、エントランス・サロンの共用エリアから、会議室、厨房、トイレ、そして2階(上足ゾーン)への入口が直接つながり、わかりやすく使いやすい空間です。会議室は3方向の開口部を持ち、イベントや災害時等の、施設内や外部エリアとの一体的な運用に対しても、高いフレキシビリティがあります。

スロープを設け誰にも優しいバリアフリーアプローチです。

エントランス外部には、植栽(ウェルカムグリーン)を施し、来館者や道行く人たちに季節感のある景観をつくります。

エントランス付近には窓を配置し、視認性と安全性を高めます。

2階(上足ゾーン)への入口は、エントランスから奥行をとり、その両側には手摺のついた下足箱を設け、靴の履き替えがしやすいよう配慮しています。

ゆったりとした昇降がしやすい階段です。

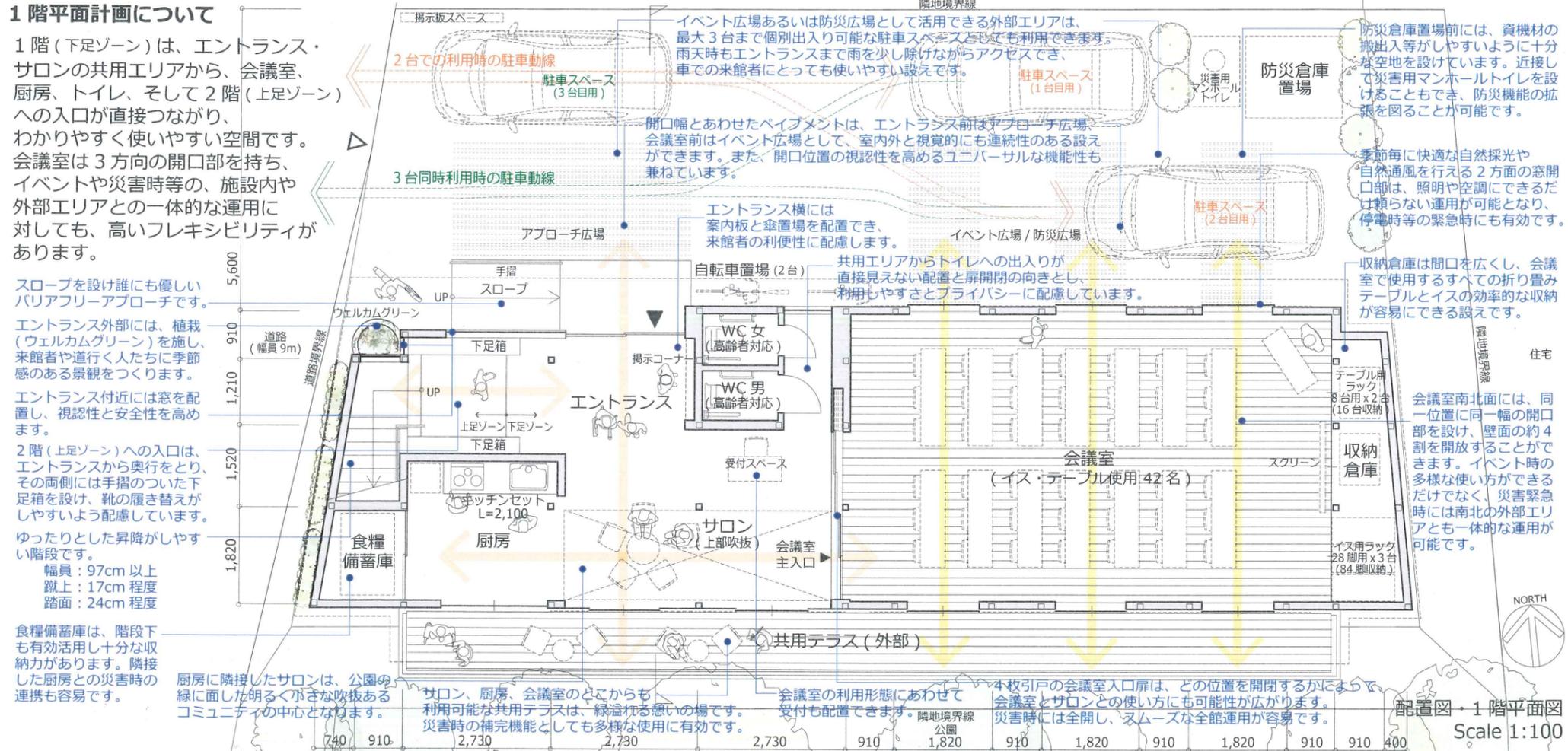
幅員：97cm以上  
蹴上：17cm程度  
踏面：24cm程度

食糧備蓄庫は、階段下も有効活用し十分な収納力があります。隣接した厨房との災害時の連携も容易です。

厨房に隣接したサロンは、公園の緑に面した明るく小さな吹抜あるコミュニティの中心となります。

サロン、厨房、会議室のどこからも利用可能な共用テラスは、緑溢れる憩いの場です。災害時の補完機能としても多様な使用に有効です。

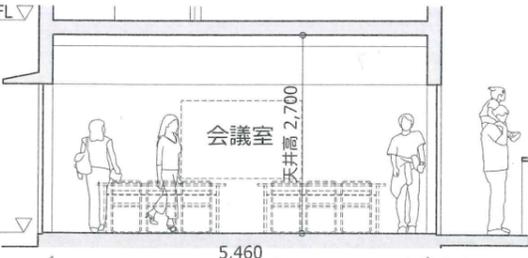
4枚引戸の会議室入口扉は、どの位置を開閉するかによって、会議室とサロンの使い方も可能性が広がります。災害時には全開し、スムーズな全館運用が可能です。



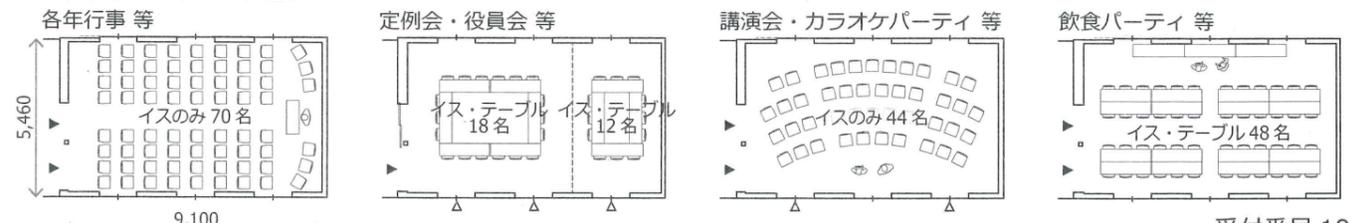
## 1階会議室について

木の温もりが感じられるインテリアの、使いやすい整形の会議室は、利用形態や人数等、多目的なニーズに対して柔軟な運用ができます。受付位置と入口間口とのバランスのとれた利用方法、外部エリアとの一体利用や、災害時の防災拠点としての使いやすさ等、汎用性の高いスペースです。

展開図  
Scale 1:100



## レイアウトのバリエーション



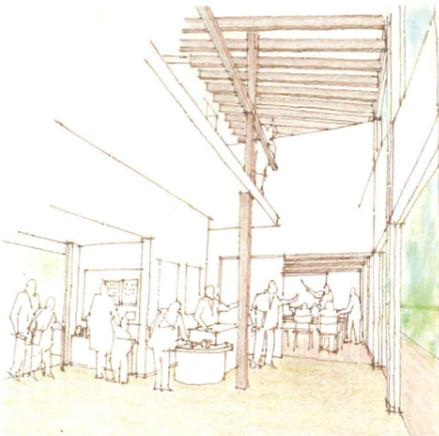
室内イメージについて 木の温かみある素材感が引き立ち、窓の向こうに広がる明神山や公園等の豊かな緑とも調和した明るく心地よい空間です。

1階 エントランス サロン

エントランスを入ると、公園の緑と一体となった明るく小さな吹抜のあるサロン。

緑を借景とした木と落ち着いた色調のインテリアが、親しみやすい雰囲気です。来館者を受け入れます。

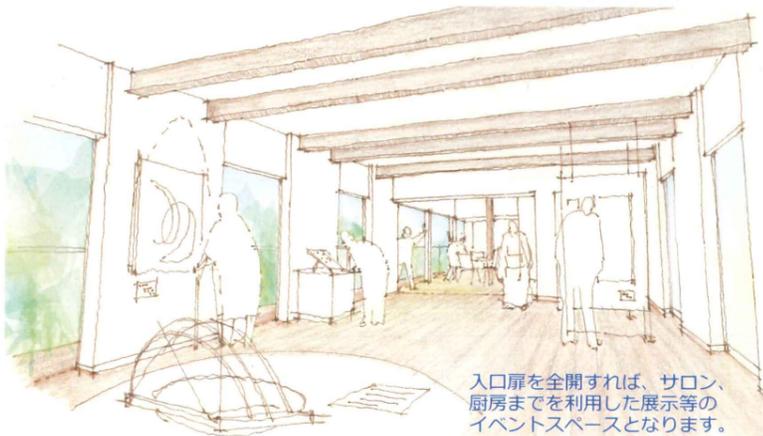
受付を経て会議室への動線も誰にとってもわかりやすく、安心感が広がる館内です。



1階 会議室

窓と壁そして木製の梁とが心地よいリズム感あるインテリアを作りながら、照明や間仕切り等の機能的なモジュールにもなっています。

必要十分な天井高さ、南北両面からの採光と通風がとれた整形の室内は、会合にも最適な落ち着いた環境です。



入口扉を全開すれば、サロン、厨房までを利用した展示等のイベントスペースとなります。

2階 ギャラリーエリア

木の架構材の連なりの中に、どこからも緑溢れる景観が望める、明るい共用エリアです。

点在する壁面は、サークル活動の成果発表やイベント展示のギャラリー的な使用にも最適です。

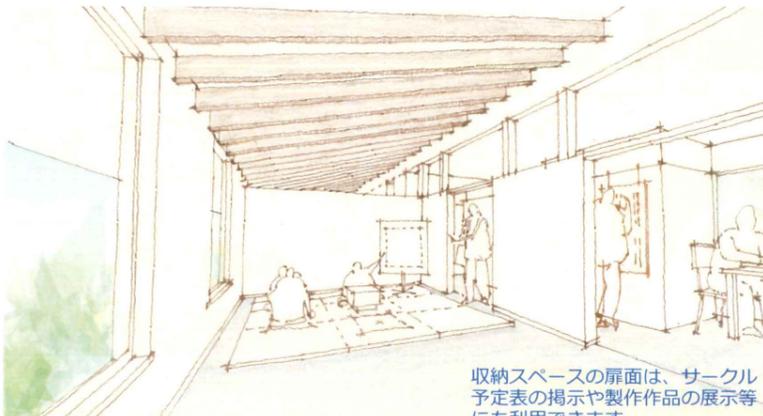
小さな吹抜やオープン簡易キッチンが、多彩なコミュニケーションを拡げてくれます。



2階 コミュニティールーム

小規模な会合やサークル活動にちょうどよい規模です。

コミュニティスポットは、ちょっとした溜まり空間。ベンチを設け談話スペースとしたり、囲碁を楽しむ縁側のように利用したり、と使い方は様々です。

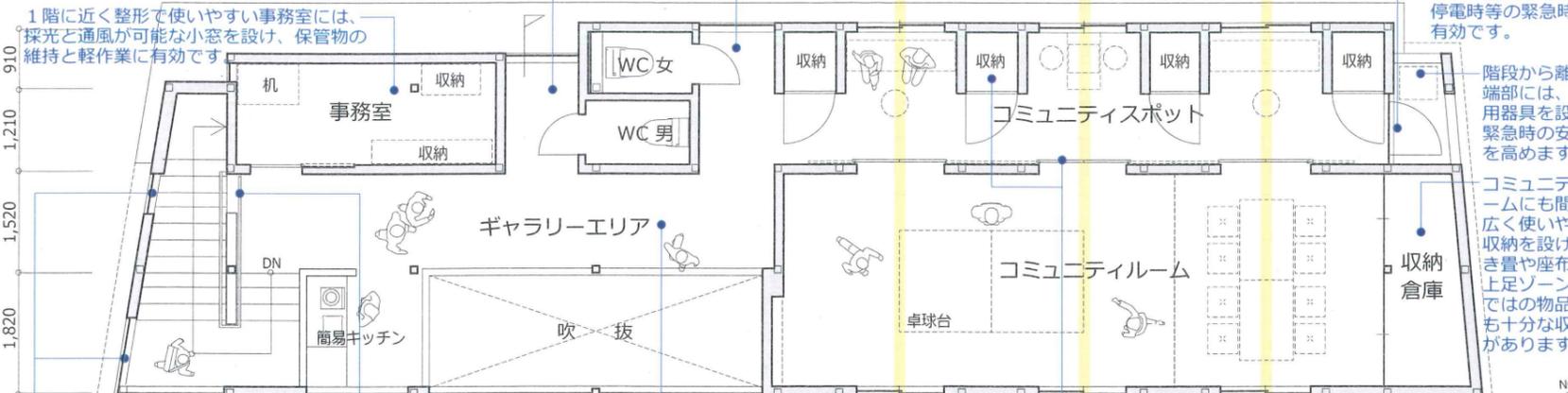


収納スペースの扉面は、サークル予定表の掲示や製作作品の展示等にも利用できます。

2階平面計画について (質疑回答 No.10 記載の「災害避難時や集会 (30-50名) 等」の利用に必要な床面積とします。)

2階(上足ゾーン)には、コミュニティスペースを設けます。

大部屋でも分割でも使用可能なコミュニティルーム、廊下の一部を利用したコミュニティスポット、1階サロンと吹抜で繋がる眺望広がるギャラリーエリア等、アットホームな多様なアクティビティに最適で、災害避難スペースとしても十分なキャパシティがあります。



1階に近く整形で使いやすい事務室には、採光と通風が可能な小窓を設け、保管物の維持と軽作業に有効です。

共用エリアは各端部にも窓を設けます。暗がり無く安心感につながるだけでなく、照明や空調にできるだけ頼らない運用が可能で、停電時等の緊急時にも有効です。

階段から離れた端部には、避難用器具を設置し、緊急時の安全性を高めます。

コミュニティルームにも開口が広く使いやすい収納を設け、置き畳や座布団等、上足ゾーンならではの物品類にも十分な収納力があります。

窓のある階段からは、明神山方面の緑が視界に見え隠れし、1階と2階の行き来を楽しくさせてくれます。

階段手摺の余長を十分に確保し、昇り終わりと降り始めに安心感があふ使いやすい階段です。

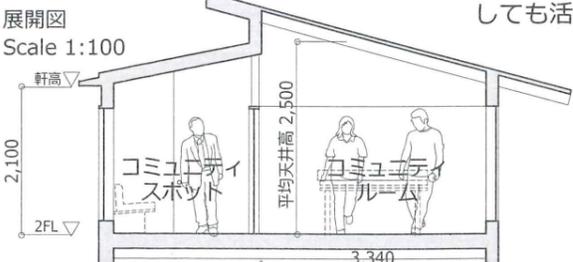
簡易キッチンとオープンに繋がった廊下は、約1.4mのゆたかりとしたスペースです。例えば、壁面展示を眺めたり、吹抜越しに1階とのコミュニケーションがなされていても、歩行や部屋などからの出入りに十分なゆとりがあります。

1階と同様に、壁面の約4割を開放できる設えに加え、さらに4個所の個別収納を設け、サークルや各種会合毎の資料等の保管等ができます。豊富な収納力は、物が散在せず整理整頓の行き届いた館内となり、安全な避難にも有効です。

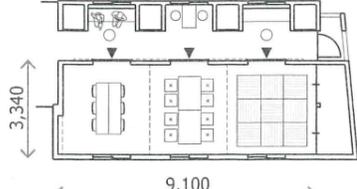
2階平面図 Scale 1:100

2階コミュニティールームについて

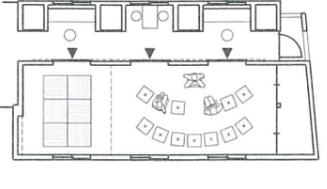
木の架構材が連続する一つ屋根の下、一体感と親近感のあるスペースです。サークル活動や各種打合せ、コミュニティスポットやギャラリーエリアとも連携したイベントスペース等としても活用でき、多様な地域コミュニケーションの広がり場となります。



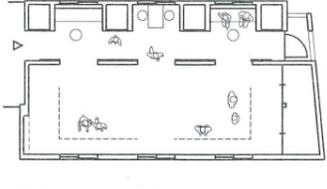
レイアウトのバリエーション



サークル利用



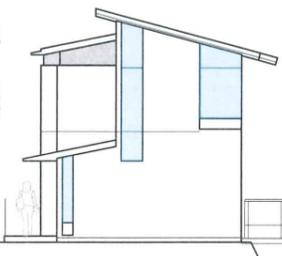
ギャラリー利用



立面計画について

周辺の豊かな景観や落ち着いた居住環境と調和した、親しみやすい佇まいです。アプローチに面する西側や北側は、誰にも馴染みやすいスケールで訪れやすい雰囲気。南側は、軒のある大屋根が公園の緑に向け、大らかに伸び、明るく健康的な印象です。

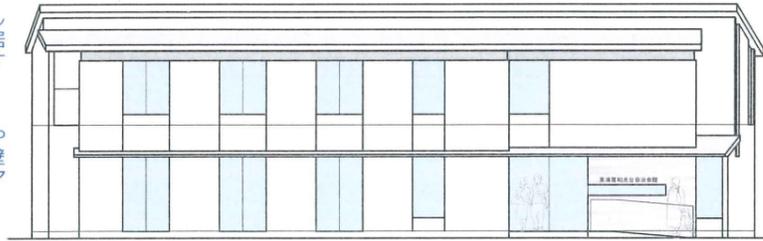
階段に沿うような窓と勾配屋根が印象的な外観です。外壁は明るく落ち着いた色調のローメンテナンスな材料とします。



西立面図

軒や窓の分節、日射の照り返しを避ける屋根勾配等、周辺住居からの景観や居住環境等に対する配慮をしています。

日本家屋らしい少し低めの軒や小さな窓、木の温もりのある壁面等によって、親しみやすいアプローチとなります。



北立面図

公園側から見える大屋根の伸びやかな水平感のある表情が特徴的です。

屋根には、海に近い地域であることを考慮し、耐候性に優れたガルバリウム鋼板を用いています。

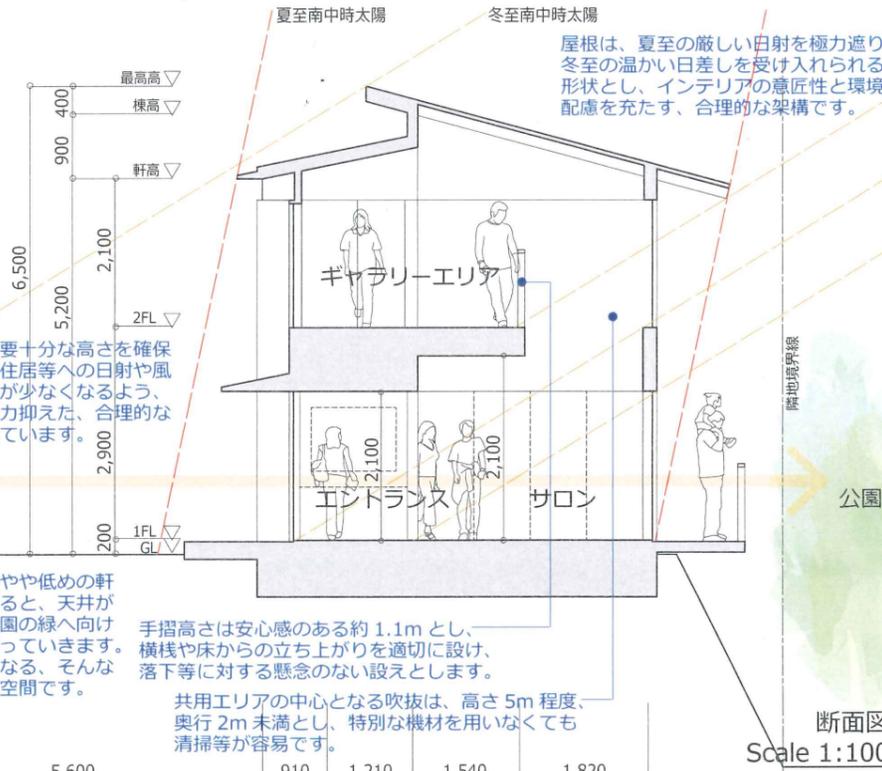


南立面図

Scale 1:200

断面計画について

木造の合理的な架構によって、施設と周辺に対する環境的な配慮と、抑揚に富む豊かな空間づくりを両立します。ヒューマンスケールな空間は日頃の維持管理が容易で、ランニングコスト低減が図れます。



アプローチのやや低めの軒から室内に入ると、天井が高く、公園の緑へ向けて空間が広がっていきます。また訪れたいなる、そんな居心地のいい空間です。

手摺高さは安心感のある約1.1mとし、横桟や床からの立ち上がりを見通しに設け、落下等に対する懸念のない設えとします。

共用エリアの中心となる吹抜は、高さ5m程度、奥行2m未満とし、特別な機材を用いなくても清掃等が容易です。

屋根は、夏至の厳しい日射を極力遮り、冬至の温かい日差しを受け入れられる形状とし、インテリアの意匠性と環境配慮を充たす、合理的な架構です。

室内各室の必要十分な高さを確保しつつ、周辺住居等への日射や風等の環境変化が少なくなるよう、建物高さを極力抑えた、合理的な断面計画としています。

断面図 Scale 1:100

事業計画について

要項等の計画予条件を充たすため、施設規模を事業性を配慮したレベルに留め、合理的かつ適正な仕上仕様とします。

計画概要		主要仕上・主要設備		概算総工事費	
敷地面積	: 283.59 m <sup>2</sup>	外部	屋根: ガルバリウム鋼板等	本体工事費	: 14,000,000 円
建築面積	: 109.10 m <sup>2</sup>	外壁	リシン吹付、板貼り等	設備工事費	: 2,700,000 円
延床面積	1階: 103.30 m <sup>2</sup>	開口	アルミサッシ等	工事費小計(*2)	: 16,700,000 円
	2階: 85.90 m <sup>2</sup>	内部	天井: 合板、構造材現し等	設計工事監理費	: 1,800,000 円
	合計: 189.20 m <sup>2</sup>	壁	合板、ビニルクロス等	総工事費小計	: 18,500,000 円
建蔽率	38.5% ≤ 40%+10%(*1)	床	板貼り、防滑性床シート等	消費税	: 1,480,000 円
容積率	66.7% ≤ 80%	主要設備	給排水、衛生、換気、照明、弱電	合計	: 19,980,000 円
規模	木造地上2階建			別途工事	敷地測量費、地盤調査及び改良費、埋設物撤去費、空調設備費、外構費、家具備品類、登記費

\*1: 横須賀市「建築基準法等施行取扱規則」第13条第2項による割増  
\*2: 要項等に示された計画と条件の実現に向けては、今後、ご予算等の調整が必要となると推測されます。